

地方創生応援税制 千年希望の丘通信

～今年度の取組紹介～



- ① 千年希望の丘エリアに点在している公園、交流センター、岩沼ひつじ村等のスポット間の移動が可能な手段として、今話題のフリーパワー自転車など13台を導入しました。
- ② VR（仮想現実）を活用した被災前の街並み再現を進めています。
- ③ 昨年度に耕作した沿岸部未利用地にそばの実を作付けし、収穫しました。
- ④ 沿岸部未利用地を耕作地として追加で整備する予定です。



↑2号丘とフリーパワー自転車



↑ご寄附を活用し、自転車保管・管理するための倉庫も整備させていただきました

千年希望の丘交流センターでは、県内初導入となるフリーパワー自転車をはじめ、電動アシスト付自転車など13台の自転車の有償貸出を、10月1日より開始しました。

フリーパワー自転車とは電池のいらぬアシストギアシステムを搭載した自転車のことで、ペダルを踏み込むと圧縮するシリコンの反発でギアが回転し、楽にこげる自転車です。

めずらしい自転車ということもあって、県内の方はもちろん、わざわざ県外から乗りに来る方もいらっしゃいます。

震災の風化防止や、体験型の防災学習での利用を目指し、バーチャルリアリティ（VR）の技術を用いて東日本大震災の津波被災前の街並みを再現し、スマートフォン等で体験できるシステムを作成しています。

市内の沿岸部にある6集落に約20箇所の再現ポイントを設定し、現地に設置された看板のQRコードにアクセスすることで、現地での現在の景観と被災前の景観を見比べることができます。



↑現在の千年希望の丘2号丘から見た被災前の景観



満開になったそばの花（撮影：2018年9月3日（月））

→新聞などで取り上げていただいたこともあり、満開になって白い花が咲いた畑には、観光客の方にも訪れていただきました。台風の影響で花が散ってしまい、実まで落ちてしまったかと心配しておりましたが、無事収穫することができました。



撮影：2018年10月14日（日）

→年越しそばとして好評だった昨年に引き続き、12月1日より市内の3つの飲食店にて、収穫したそばの実を使用したそばの提供を開始しました。提供されているそばは「常陸（ひたち）秋そば」で、甘みのある上品な味わいが特徴です。

耕作した沿岸部未利用地（千年希望の丘相野釜公園内）で、昨年に引き続きそばの実の試験栽培を行いました。

昨年より作付面積を増やしましたが、猛暑や台風の影響により収量は昨年と同程度となりました。今年度も市内の飲食店で提供する分や、加工品として使用する分の実は確保できましたが、来年度においては、新たな商品開発、販路の拡大のため収量の確保を課題とし、引き続き、新しい耕作地の整備、そばの実の栽培等、本取組を進めてまいります。



収穫の様子（撮影：2018年10月3日（水））

←10月14日に行われ、約1万1千人が参加した「東北・みやぎ復興マラソン2018」では、市内の飲食店に協力をいただき、フルマラソンでのランナーに対する給食として、6,000人分の一口そばを提供しました。



撮影：2018年12月4日（火）

地元新聞（河北新報）等にて、各取組を取り上げていただきました。

- ①9月4日（火）：河北新報
- ②9月6日（木）：産経新聞
- ③10月1日（月）：河北新報
- ④12月11日（火）：毎日新聞



①

希望のソバ 風に揺れて ——— 岩沼・玉浦

東日本大震災で被災した岩沼市玉浦地区に整備が進む「千年希望の丘」の一角でソバの花が満開になり、風に揺れる一面の白い花びらが見物客らの目を楽しませている。集団移転跡地で震災の伝承につながる特産物を育てようと、市が昨年度から始めた試験栽培の一端。本年度は面積を1.5倍に増やし、南北約10%に及ぶ丘の北側のエリアに4カ所、計約1万800平方メートルのソバ畑が広がる。収穫は今月末から10月上旬。昨年度同様、市内のそば店などで提供してもらう計画だという。



②

〈宮城〉強い勢力で4日北地方に接近した台風21号。東日本大震災の記憶を伝承する「千年希望の丘相野金公園」（岩沼市）では、園内で栽培され見頃を迎えていたソバの花が散ってしまふ被害を受けた。写真（岩野岡剛撮影）。公園の管理などをする交流センターの職員は「残念」と落胆していた。同公園では昨年からの震災の伝承にもつなげる特産品を作るためにソバの栽培を始めた。ソバ畑は4箇所、栽培面積は1万779平方

見頃のソバの花 台風で…

届。昨年の収穫量は計380kgという豊作だった。ソバは市内の飲食店などで提供されていたという。今月初旬に白い花が見頃を迎え、同月下旬から10月中旬にかけて行われる収穫に向けて意気込んでいた矢先に、台風に見舞われた。交流センターの鈴木晴彦さん（51）は「昨年は予想以上の収穫量があり安心して望めるか…」と不安そうに話した。同センターの高橋則子さん（51）も「順調に育ち、白い花が一面に咲き誇りとてもきれいだったけれど、ショック。残念」と肩を落とした。

③

2018年(平成30年)10月1日(月曜日)

希望の丘 駆け抜けよう

岩沼市 レンタサイクル事業開始



県内自治体で初導入というフリーパワー自転車

「フリーパワー」も導入

岩沼市は1日、東日本大震災で被災した同市玉浦地区に整備中の「千年希望の丘」で、レンタサイクル事業をスタートさせる。被災した市北部の慰霊公園は南北約10%に及ぶ、14カ所ある丘と丘を結ぶ遊歩道やなごさげの市道を走り、ヒッコリ牧場などの各所を巡ってもらう計画だ。

丘の北側エリアにある防災教育拠点交流センターに、電動アシスト自転車や一般的な自転車など約10台を配備する。ペダルを踏み込むと圧縮するシリコンの反発でキアが回転し、楽に走れるという「フリーパワー自転車」を、県内自治体によるレンタサイクル事業で初めて導入する。チャイルドシートの付いた電動アシスト自転車も導入する。

千年希望の丘は震災が起きた約15カ所設け、高さ約30mの遊歩道でつなぐ緑の防潮堤。遠くを見渡せる丘だけでなく、遊歩道やヒッコリ牧場、パークゴルフ場といったスポットが点在し、敷地が広大なため移動手段の必要性が検討されている。12～3月は休止する。

菊地啓夫市長は「各スポットを一体的に回れるようにしたい」と、自転車の活用を決めた。行業にいい季節なので、お弁当を持って散歩してほしいと話す。

小学生以上が対象で、使用料は1台につき200～400円。土曜日も貸し出す。強風が懸念される12～3月は休止する。

④



菌応え良し 地元産提供

宮城県岩沼市「和食・そば処千歳」

東日本大震災の被災を受けた岩沼市を支援する「和食・そば処千歳」が、市内3店舗のそばの提供が、同市役所から依頼された。希少な味を求め、ファンが県内外から集まる。岩沼市は、岩沼市の復興事業の一環で、津波被災地に整備された復興公園「千年希望の丘」の周辺に約1万800平方メートルの耕作地を確保している。試験栽培を経て、昨年から収穫が始まった。作付けされているのは、国産そばの中でも人気高い「群峰そば」だ。しっかりと噛み潰れやすいのが特徴だ。同日は約40年前に創業した。震災の時は、店の外壁や屋根が崩れる被害を受けた。電気や水も止まったが、震災翌日には市役所へ給水に来る人たちが、無料で生かすを届けた。震災からの復興後に事業を再開し、現在いる。

岩沼市では、被災者への支援が今年も目立った。普段は山形県産のそばを使用しているが、12月中は岩沼産のそばを提供している。今年も岩沼産のそばの影響で、昨年の収穫量は減ったものの、料理長の矢野孝さん（48）は「味の良さは去年より断然良い」と自慢げだ。

そば本来の味を堪能するため、そばは「和食・そば処千歳」でしか食べられない。そばは「和食・そば処千歳」でしか食べられない。そばは「和食・そば処千歳」でしか食べられない。

東日本大震災の被災を受けた岩沼市を支援する「和食・そば処千歳」が、市内3店舗のそばの提供が、同市役所から依頼された。希少な味を求め、ファンが県内外から集まる。岩沼市は、岩沼市の復興事業の一環で、津波被災地に整備された復興公園「千年希望の丘」の周辺に約1万800平方メートルの耕作地を確保している。試験栽培を経て、昨年から収穫が始まった。作付けされているのは、国産そばの中でも人気高い「群峰そば」だ。しっかりと噛み潰れやすいのが特徴だ。同日は約40年前に創業した。震災の時は、店の外壁や屋根が崩れる被害を受けた。電気や水も止まったが、震災翌日には市役所へ給水に来る人たちが、無料で生かすを届けた。震災からの復興後に事業を再開し、現在いる。